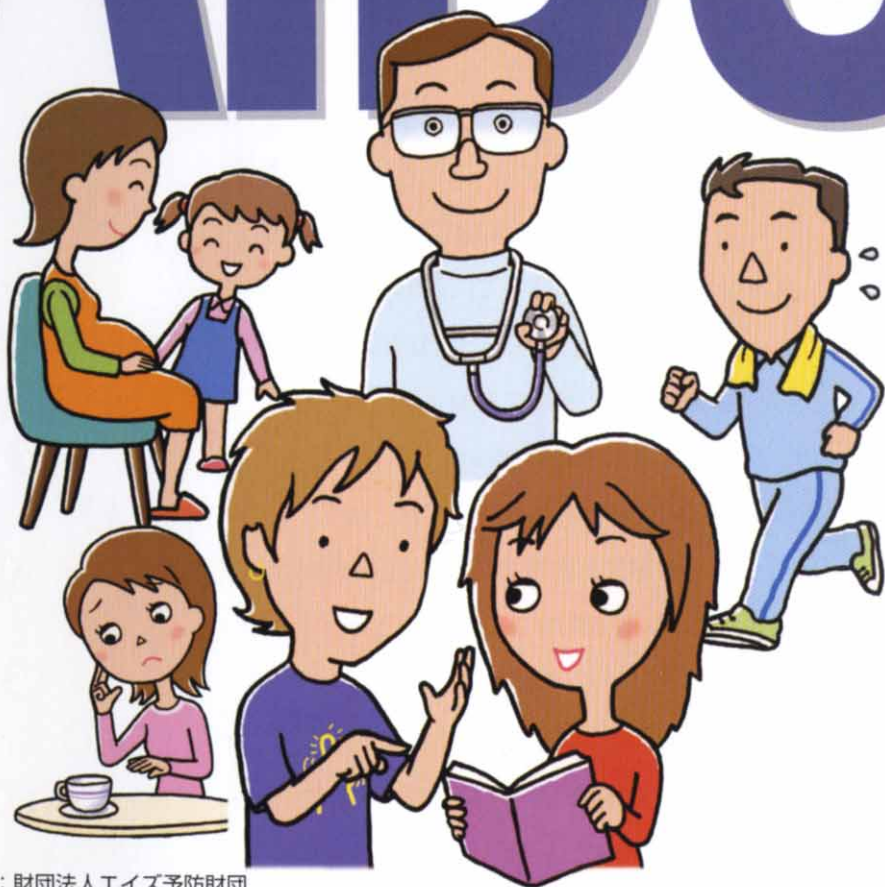


これだけは知っておきたい

エイズ

正しく理解して、しっかり予防しましょう



監修：財団法人エイズ予防財団

STOP! AIDS

正しい知識をもつことが
エイズ予防の第一歩です

もくじ

- エイズってどんな病気? 3
- エイズはどれくらい増えているの? 4
- HIV・エイズのことを、なぜ知らなければいけないの? .. 5
- HIVはどのように感染するの? 6
- こんなことではHIVはうつりません 7
- HIVに感染するとあらわれる症状とは? 8
- HIV感染を避けるため積極的に自己防衛しましょう .. 10
- もっとエイズを理解するためのQ&A 12
- コンドーム・豆知識! 15
- 感染者への誤解や偏見をなくしましょう 16
- もし、あなたがHIVに感染していたら 18
- HIV検査を受けましょう 20
- HIV検査は簡単に受けられます 22
- JFAPエイズサポートライン 23

エイズって、 どんな病気？

エイズは 免疫機能が働かなくなる病気です

エイズ (AIDS) とは、

Acquired Immunodeficiency Syndrome (後天性免疫不全症候群) の頭文字をとった病名で、わたしたちの体に自然に備わっている病気に対する抵抗力、つまり免疫機能が働かなくなる深刻な病気です。

エイズを引き起こすのは、
HIV
と呼ばれるウイルス

HIV は、
Human Immunodeficiency Virus (ヒト免疫不全ウイルス=エイズウイルス) の略で、1983 年に発見されました。このウイルスに感染すると、免疫機能の主役である白血球の一種、リンパ球が破壊され、免疫機能が少しずつ弱くなっていきます。

エイズ
A
cquired
(後天性)
I
mmuno
(免疫)
D
eficiency
(不全)
S
yndrome
(症候群)

免疫機能が落ちると、
病気に
かかりやすくなります

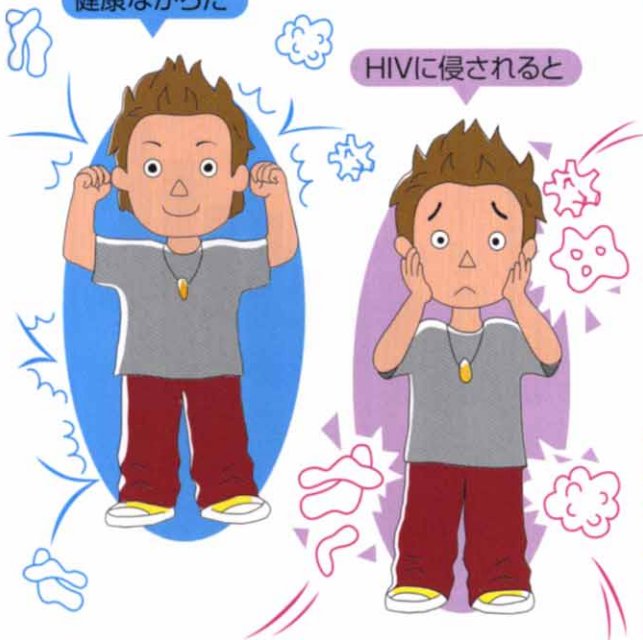
わたしたちの身の回りには、細菌やウイルス、カビなどがたくさん存在していますが、ふつうはこれらが体内に入っても自然の免疫機能が働き、病気にはなりません。

ところが、HIV に感染して免疫機能が落ちてくると、細菌やウイルス、カビなどが体に入り、どんどん増え続け、ついには重い肺炎やがんなどにかかり命を失うことにもなります。

でも、HIV の感染力は弱く、感染ルートも限られています。正しく理解して、キチンと予防すれば、恐れることはありません。

健康なからだ

HIVに侵されると



エイズはどれくらい 増えているの？

世界では 2007年末現在の感染者数は、約3,320万人
世界規模の HIV/ エイズの流行によって、2007 年には、年間約 210 万人がエイズによって死亡し、約 250 万人が新たに HIV に感染したと推計されています。現在、世界中で HIV/ エイズと共に生きる人々は約 3,320 万人。毎日、6,800 人が HIV に新たに感染し、5,700 人がエイズにより死亡しています。

日本では HIV感染者・エイズ患者が1万3千人を超える
日本では、2007 年 12 月 31 日現在、HIV 感染者が 1,082 件と初めて 1,000 件を超え、エイズ患者 418 件とあわせた新規発生病数は 1,500 件と前年より 142 件の増加となりました。HIV 感染者、エイズ患者ともに増加が続いています。

感染経路別年間報告（2007 年）では、性的接触による感染者が多く、異性間が 20%、男性同性間が 67%で合わせて 87%、とくに男性同性間の性的接触による感染は HIV 感染者の 67%、エイズ患者の 38%となっています。

感染報告地域では、これまでの東京を中心とする関東ブロックに加え、近畿、東海、その他の大都市において増加が見られます。

■原因別にみた感染者・患者数（累計）

感染の経路	HIV感染者	エイズ患者
異性間の性的接触	3,325人	1,915人
同性間の性的接触注1	4,806人	1,402人
静脈注射濫用	46人	36人
母子感染	32人	17人
その他注2	221人	145人
不明	1,523人	1,156人
合計	9,953人	4,671人注3
凝固因子製剤による感染者注4	1,438人	

注1 両性間性的接触を含む。

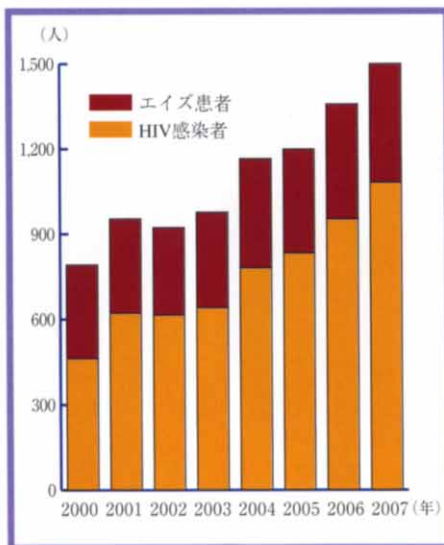
注2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

注3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

注4 「血液凝固異常症全国調査」による2007年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数。

* エイズ動向委員会報告より（2008年6月現在）

■HIV感染者・エイズ患者の年次推移



HIV・エイズのことをなぜ 知らなければいけないの？

エイズから身を守るには、正しい知識が 欠かせません

●現在、エイズを予防する
ワクチンはありません

いま全世界で、ワクチン研究が続けられていますが、エイズを完全に予防するワクチンの開発は当分難しい状況です。

●特別な人だけが、
感染するわけではありません

年齢が高いとか低いとか、男か女か、同性愛か異性愛かなどに関係なく、だれでも感染の可能性があります。



エイズを正しく理解すれば、 誤解や偏見、不安がなくなります

エイズについての正しい知識があれば、もし、あなたの周囲の人が感染したとしても、恐れる必要はなにもありません。

エイズについて、 関心をもつことは大切なことです

エイズを予防するためには、常に正しい情報をキャッチすること、感染経路を理解し感染予防を実行し続けることがとても重要です。

エイズを防ぐには、ひとりひとりがいま
解することが、まず第一。
したがって、「教育こそ最良のワクチン」といわれていま
す。

主な感染経路は、3つです

HIVの感染源として重要なのは、血液、精液、膣分泌液です。
したがって、感染原因の8割以上が性的接触によるものです。

1 性的接触による感染

感染者の精液や膣分泌液に含まれているHIVは、性器や直腸、口などの粘膜を通してパートナーの体内に入り感染します。



2 血液による感染

輸血での感染は、現在の日本では、まず心配いりません。問題なのは、感染者と注射針や注射器を共用する麻薬の回し打ちです。また、感染者の血液が傷口や粘膜に大量につくと、うつる可能性があります。

3 母親から赤ちゃんへ

母親がHIVに感染していると、妊娠中の母親の体内で、また出産時、出産後に血液や傷口から感染する可能性があります。また、母乳を通しての感染も報告されています。母子感染の確率は10～30%です。



輸血による感染について

日本では、輸血用血液は厳重な検査によって最高水準の安全性が確保されています。しかし、現在の技術では極めてまれですが、感染の可能性を完全に排除することはできません。

こんないじりません HIVはうつりません

性的接触以外の日常生活では、 まず、心配いりません

HIVは、空気感染、唾液などの飛沫感染、蚊などの昆虫を媒介感染はないことがわかっています。つまり、性的接触以外の日常生活ではうつりません。

たとえば、次のようなことは心配いりません……。

●学校や電車、
バスの中でだれかの
隣に座っても
うつることは
ありません。

●本や文房具を
一緒に使っても
うつりません。

●献血で
うつる心配は
ありません。

●イスやネコなどの
ペットから
うつりません。

●咳やくしゃみ
などもうつりません。

●蚊やその他の虫に刺
されても
うつりません。

●洋式トイレを
使っても
うつりません。

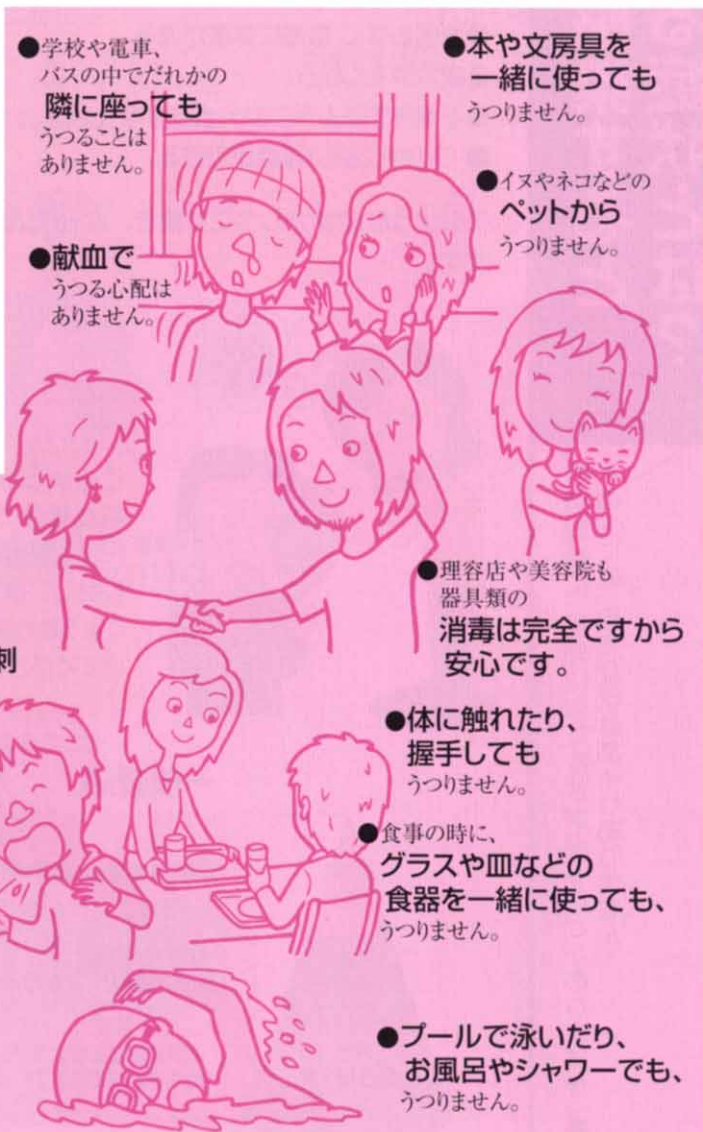
●タオルやクシなど、
日用化粧品でうつる
ことはありませんが、
自分のものを使う
ようにしましょう。

●理容店や美容院も
器具類の
消毒は完全ですから
安心です。

●体に触れたり、
握手しても
うつりません。

●食事の時に、
グラスや皿などの
食器を一緒に使っても、
うつりません。

●プールで泳いだり、
お風呂やシャワーでも、
うつりません。



HIVに感染すると あらわれる症状とは？

数週間後に、風邪に似た症状が出ることがありますが、多くの人には、自覚症状はあまりありません。

長くつづく無症状期

感染後、多くの人は無症状の期間が、平均で約10年続きます。やがて、抵抗力が落ちることで発症する疾患があらわれます。

- 寝汗や発熱が続く。
- 首のまわり、脇の下、股のつけねなどのリンパ腺がはる。
- 原因もなく、急激に体重が減る。
- 疲れやすくなる。
- 下痢をするようになり、食欲がなくなる。
- 口の中に白い斑点ができる。

このような症状がしつこく続き、だんだん重くなっていきます。



このような症状があらわれた場合でも、必ずしもHIVが原因とは限りません。しかし、症状が数週間続くようなら医師の診察を受けてください。

一般経過

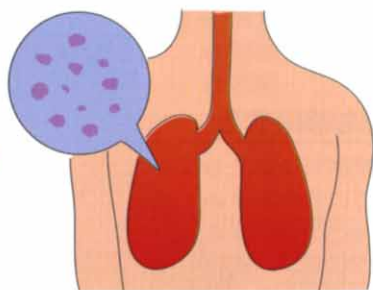


さらに病状がすすむとエイズ発病と診断される

からだの抵抗力が弱くなると、弱い細菌やカビ、原虫に感染しやすくなり（日和見感染症）、悪性腫瘍もできやすくなります。カリニ肺炎やカポジ肉腫が代表的なものです。神経障害も起きます。そして、こうした状態をエイズと呼びます。

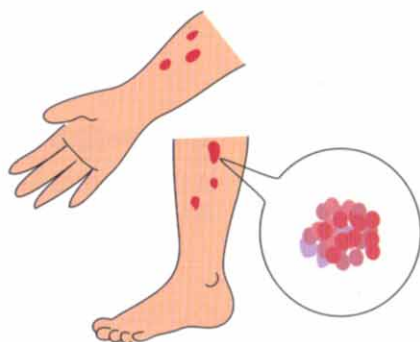
カリニ肺炎

カリニ博士が発見した微生物が肺に寄生しておきる肺炎の一種です。からだの免疫力が正常で健康な人は、心配のない病気です。



カポジ肉腫

皮膚や内臓に赤から紫色、褐色などの斑点ができる悪性腫瘍の一種です。全員にできるわけではありません。

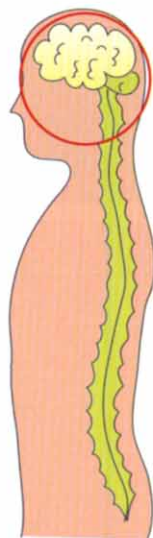


HIVは脳神経系も襲い、意識低下や記憶力低下の症状があらわれることがあります。

たとえば……

- 健忘症
- 無関心
- 決断力の喪失・部分的まひ
- 運動機能の障害
- 知覚機能の障害、など。

まだ、エイズの根本的な治療法はありませんが、新薬の登場によって、病気の進行や発病を何年も遅らせることが可能になってきました。



HIV検査を 受けましょう

保健所のHIV検査は 「無料」「匿名」

「匿名」で受けられるので、プライバシーは守られます。

「無料」で受けられるので、費用の心配をする必要はありません。

「全国の保健所」で受けられるので、最寄りの保健所、自分の居住地以外の保健所でも大丈夫です。また医療機関でも HIV 検査は受けられますが、有料（5,000～10,000円程度）となります。

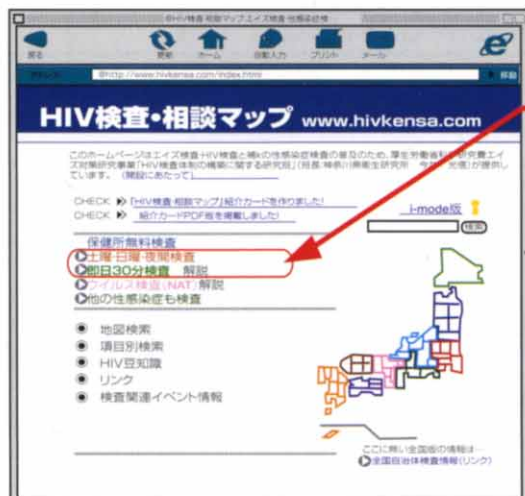


全国のほとんどの保健所などで、HIV検査・相談を受けることができます。

あなたも HIV 検査を 受けてみましょう!

多くの保健所での検査は、平日の昼間、週に1日ですが、平日夜間、土・日曜日に行っている保健所・HIV 公的機関もあります。





即日30分検査

ホームページ「HIV 検査・相談マップ」は、首都圏・全国政令都市を中心に保健所等無料検査機関、即日検査実施協力クリニックの HIV 検査情報を提供しています。

即日検査 (抗体迅速検査)

通常、検査してから結果を告知されるまでの期間は 1～2 週間ですが、検査後、15～30 分程度で結果がわかる検査方法があります。

通常の抗体検査法と同じ性能です。陰性の（感染していない）場合は、すぐに結果が知らされますが、陽性・偽陽性の場合、通常と同じ HIV 確認検査法で確認しますので、1 週間程度で結果が知らされます。

この方法は、すべての検査機関で行われているわけではありません。

HIV 検査・情報マップ <http://www.hivkensa.com>

インターネットで検索して、自分の都合の良い日時に検査を受けられる検査機関を探してみてください。

予約が必要な所は直接検査機関に電話をして、予約してから検査を受けに行きましょう。

また、プライバシーの保護のため、結果は 1～2 週間後の決められた日時に同じ場所で、本人に知らされます。本人以外の第三者へ、また電話・郵便で告知を受けることはありません。

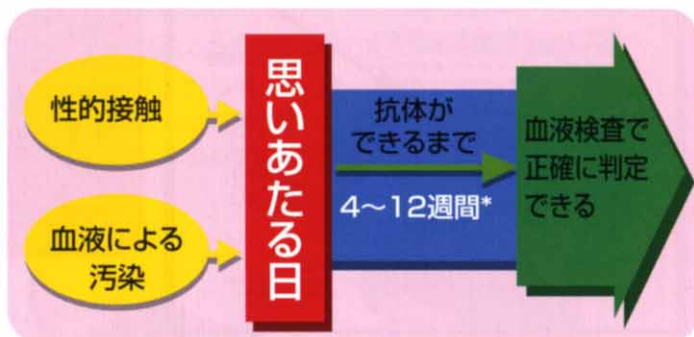


HIV検査は 簡単に受けられます

検査は血液を少し採るだけです

検査は、血液を5cc程度採るだけで終わります。

もし、この最初の検査（スクリーニング検査）で陽性と出た場合は、確認検査を受ける必要があります。



ウインドウ期 (ウインドウピリオド・空白期間)

HIV 感染初期（感染した日からおよそ3ヵ月間）に、血液検査をしても感染の有無がわからない期間を「ウインドウ期（ウインドウピリオド・空白期間）」と呼びます。

このウインドウ期には、HIV に感染している人でも、検査結果が「陰性」となることがあります。

そこで、HIV 検査を受ける当日には「感染したと思われる日から4~12週間以上経過してから」を確認して、検査を受けましょう。

* 通常、HIV に対する抗体は1ヵ月くらいで産生されますが、個人差もあるため、最長のウインドウ期間を3ヵ月としています。

医療技術は日々進歩していますが、残念ながら限界があります。

ウインドウ期に献血された血液が、HIV に感染しているにもかかわらず検査をすり抜けてしまうと、輸血による感染が起こる危険があります。

検査目的の
献血は絶対しては
いけません!



献血された血液は、HIV検査が行われます。しかし、その結果HIV感染が確認されても本人に通知されることはありません。HIV感染の懸念がある場合は、検査機関でHIV検査を受けてください。

24時間電話自動応答システム

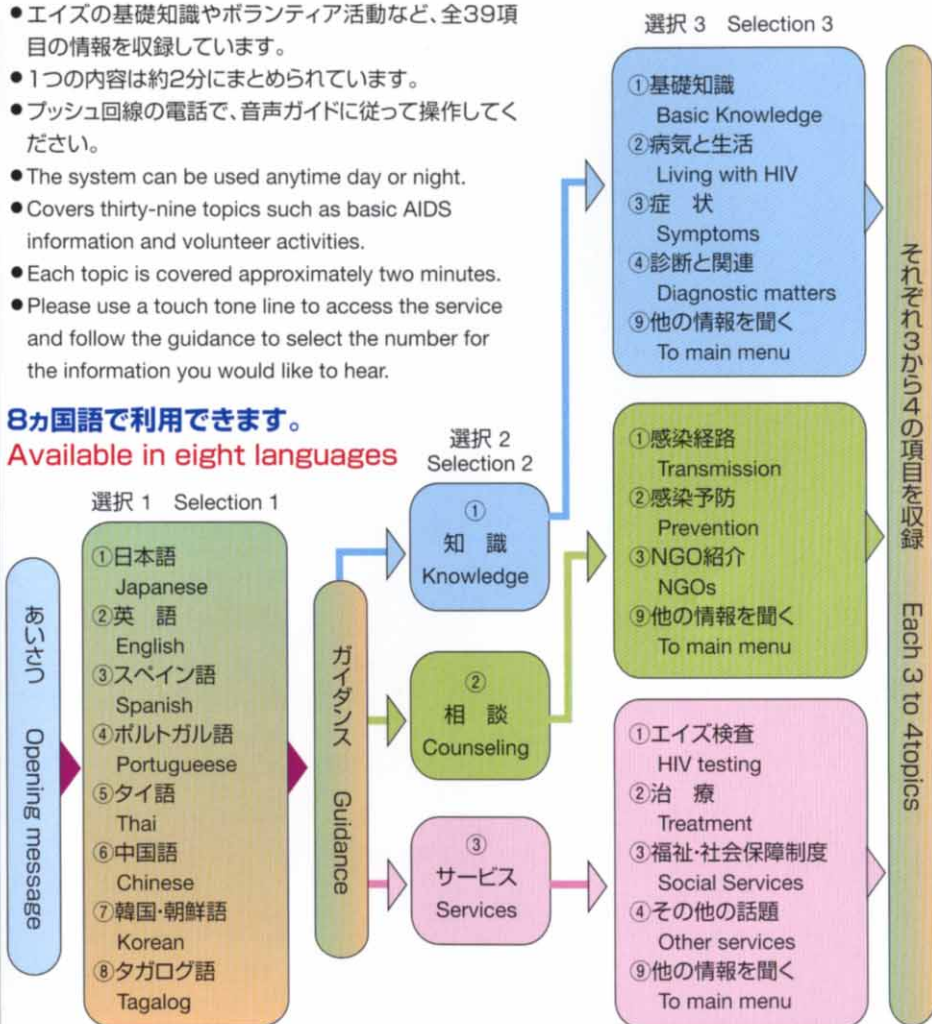
JFAPエイズサポートライン

JFAP AIDS Support Line

- 24時間いつでも利用可能です。
- エイズの基礎知識やボランティア活動など、全39項目の情報を収録しています。
- 1つの内容は約2分にまとめられています。
- プッシュ回線の電話で、音声ガイドに従って操作してください。
- The system can be used anytime day or night.
- Covers thirty-nine topics such as basic AIDS information and volunteer activities.
- Each topic is covered approximately two minutes.
- Please use a touch tone line to access the service and follow the guidance to select the number for the information you would like to hear.

8カ国語で利用できます。

Available in eight languages



JFAP AIDS Support Line

東京・Tokyo 03-5940-2127
 神戸・Kobe 078-265-6262
 福岡・Fukuoka 092-418-1818

さらに詳しい内容についてのご相談は(日本語対応)

エイズ予防財団電話相談
 フリーダイヤル:0120-177-812
 (携帯電話からは03-5259-1815)

月曜日～金曜日
 10:00～13:00
 14:00～17:00
 祝祭日を除く

この冊子販売による収益の一部は、日本エイズストップ基金に寄付されます。